

キサンチン脱水素酵素

Cat. No. EXWM-1082

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 様々なプリンおよびアルデヒド、特にヒポキサンチンに作用します。哺乳類の酵素は、基質がレチノイド結合タンパク質に結合している間に、オールトランスレチノールをオールトランスレチノエートに交換することもできます。真核生物由来の酵素は[2Fe-2S]、FAD、およびモリブデン中心を含んでいます。哺乳類の酵素は主にNAD依存性脱水素酵素（EC 1.17.1.4）として存在します。精製中に、酵素は主にO₂依存性の形態であるキサンチンオキシダーゼ（EC 1.17.3.2）に交換されます。この交換は、システインチオール酸化によって二硫化結合を形成すること（これはEC 1.8.4.7、酵素-チオールトランスヒドロゲナーゼ（グルタチオン-二硫化物）がグルタチオン二硫化物の存在下で触媒することができます）や、限られたプロテオリシスによって引き起こされることがあります。これにより不可逆的な交換が生じます。この交換は *in vivo* でも発生する可能性があります。

別名 NAD⁺-キサンチン脱水素酵素; キサンチン-NAD⁺ 酸化還元酵素; キサンチン/NAD⁺ 酸化還元酵素; キサンチン酸化還元酵素

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 1.17.1.4

CAS登録番号 9054-84-6

反応 キサンチン + NAD⁺ + H₂O = 尿酸 + NADH + H⁺

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。